



ニュース4号

特定非営利活動法人 iCare ほっかいどう

Information, Communications, and Attention-Related Empowerment Center for the Challenged
in Hokkaido 障害者のための情報と通信と人々の理解に関するエンパワーメントセンター北海道

佐野有美 講演会開催！ 8月4日（土）

四肢欠損という重い障害をもちながら、左足の3本の指を使って日常生活のあらゆることをこなす佐野さん。講演活動や歌手として活躍中ですが、昨年末には「輝く！日本レコード大賞」の企画賞を受賞しました。佐野さんの明るい生き方は多くの人を勇気づけることと思います。

日時：2012年8月4日（土）14時～15時30分

開場13時30分

会場：札幌教会 明星館2Fホール

入場料：前売券2,000円 当日券2,500円

チケットをご希望の方は、e-mail か FAX でご希望の枚数と連絡のつく電話番号をお知らせください。

道新プレイガイド（大通西3丁目）でも取り扱っています。

連絡先：jimu@icare-h.org

FAX :011-596-8794



秋山助成事業 第一回委員会開催

6月22日、秋山財団助成による「道内の意思伝達支援ネットワーク普及プロジェクト」の今年度第一回委員会が開催されました。道内の各分野で活躍される委員の皆さんは忙しい方ばかりで、委員の参加は半分ほど、その他にオブザーバー、患者や家族の参加もあり25名ほどの会議でした。八雲の保健師さん、苫小牧の作業療法士さんから意思伝を導入した方の事例発表があり、iCare ほっかいどうからは、秋山財団の助成による昨年の活動報告を行いました。また、視線入力による意思伝達装置マイトビーの紹介もありました。高価なことがネックであり、行政が給付を給付を認めてくれるかどうかなど難しい問題はありますが、これを切望している患者さんはいらるだろうなあと感じました。



座長を務めて下さった土井先生、参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

2012年7月1日

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業
意思伝達支援ボランティア育成研修 in 帯広 報告

6月9日(土) WAM助成金による「意思伝達支援ボランティア育成研修 in 帯広」が帯広とかちプラザにて開催されました。参加者は帯広を中心とする道東地区の医療者、在宅支援者、ボランティア、そして患者家族など合わせて20名。皆さん、熱心に耳を傾けて下さいました。

この研修会は、福祉医療機構(WAM)から助成を受けて、帯広、苫小牧、室蘭、函館の4ヶ所で医師伝達支援を実施していくものです。ボランティア育成研修の第1回目が今回の帯広での開催でした。帯広は医療講演や研修会などに医療福祉関係者が積極的に参加する地域であると事前情報をいただいておりますが、意思伝達装置やコミュニケーション支援に関する研修会は必要と感じていながら出来ていなかったということで、研修を始める前から私たちもやや緊張しておりました。

今後は医療者や保健所などから訪問を希望される患者さんを紹介していただき再び帯広を訪問して、現地のボランティアさんや医療者に向けて機器のデモを実施、実際に医師伝達装置の操作をしていただき、患者さんを訪問をしながら経験を積んでいただく予定です。



今後の予定

☆意思伝達支援研修会 in 恵庭 7月20日(金) 18時30分～市民会館 (秋山助成事業)

☆意思伝達支援研修会 in 苫小牧 7月21日(土) 13時30分～

苫小牧市身体障害者福祉センター (WAM助成事業)

☆ちょっと大きな勉強会 ICT救助隊 8月18日(土) 19日(日) 北海道難病センター (秋山助成事業)

意思伝達支援全般を2日間にわたって、じっくり学ぶ研修会です。ぜひ、予定を入れて下さい。

参加費 2,000円 (2日間)

★iCare ほっかいどうは facebook を始めました。 <http://www.facebook.com/iCarehokkaido>

たくさんの「いいね!」をお待ちしています。

★赤い羽根共同募金と福祉医療機構からの助成でそれぞれパソコンを1台、また認定NPO法人イーパーツからプロジェクターをいただきました。どれもこれからの活動に欠かせないもので感謝でいっぱいです。

特定非営利活動法人 iCare ほっかいどう

〒060-0061 札幌市中央区南1条西8丁目 SITY ビル 6F

T)011-222-4462 F)011-596-8794 jimu@icare-h.org <http://icare-h.org/>